

全日本大学野球あす開幕 八学大12日初戦



攻撃的野球「暴れてくる」

野球の第73回全日本大学選手権は10日、明治神宮球場と東京ドームで開幕する。北東北大学連盟代表の八学大は12日の2回戦に登場し、天理大(阪神)と東農大北海道オホーツク(北海道)の勝者と対戦する。神宮球場で午前11時半プレーボール。

八学大は1月に就任した新沼館貴志監督の下、好投手を数多く育てた正村公弘前監督(現・亜大監督)の土台を引き継ぎながら、攻撃的な野球を展開。春季リーグ戦は開幕8連勝で、2019年以来5年ぶりに全国の切符を獲得した。

今年のチームは、主将で4番の小林日出や3番の平尾柊翔を軸とした打線が強力。守備面では、制球力が光る西山幹太から最速150km/hの加藤響、抑えの粕谷映斗へつなぐ継投パターンに持ち込めるかが鍵となりそう。

新沼館監督は取材に「数ある大学の中でうちを選んでもらった選手たちに、力を出し切ってもらいたい。存分に暴れてくる」と抱負を語った。選手権は全国の春季リーグ戦などを勝ち抜いた27大学が出場。決勝は16日午前11時から、神宮球場で行われる。

(桑田友人)

全日本大学野球選手権に挑む
八学大ナイン